

東部中学校信州型コミュニティースクール

伊那市立東部中学校

1 はじめに

(1) 地域と教育

地域の未来を担う子ども達の教育は、学校・家庭・地域の連携が大切です。現在、人々の繋がりは希薄化し・核家族化する中、社会でもまた物事が多様化・複雑化し、めまぐるしく変化している。そんな中で、子ども達を健全に育むためには、学校・家庭・地域が今まで以上に繋がり、協働して関わっていくことが必要となっている。

(2) 国・県の動向

平成18年に教育基本法が改正され、「学校、家庭、地域社会の相互の協力」が明記された。また、東部中学校でも、信州型コミュニティースクールの試案が出され、本校でその準備が進められてきた。勿論、県においても、「信州型コミュニティースクール」を目指した取り組みが各地で始まっている。

(3) 東部中学校の方向

本校では、平成28年度から、「信州型コミュニティースクール」を実施する方針が出され、今までにも増して、地域の皆さんと協働に関わって、子どもたちの健全育成を目ざした、地域と共に歩む学校を目ざす。

2 信州型コミュニティースクールとは

学校の教育活動を支援する“地域に作られた学校の応援団”で、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる為の組織です。

(1) 信州型コミュニティースクールの目的

① 学校教育の充実

教員や地域の大人が子どもと向き合う時間が増え、多様な知識・経験に触れられると共に、教員にもゆとりが生まれ、授業の充実につながります。更には、子ども達の地域やボランティアへの関心も高まり、「生きる力」を育成することが出来ます。

② 生涯学習社会の充実

地域住民が自らの学習成果を生かす場が広がり、自己実現や生きがいづくりにつながり、市民の「生涯学習」の振興を図ることが出来ます。

③ 地域の教育力の向上

地域住民が学校で教育に参加することで、子どもたちの発達段階に応じた適切な働きかけができ、互いの絆が深まり、地域の活性化につながります。

(2) 信州型コミュニティスクールのしくみ

①信州型コミュニティスクール運営委員会

運営委員会が、どのような支援を行っていくかという方針などについて、企画・立案を行う委員会で、学校・PTA・各分野代表者などから組織されます。

②地域コーディネーター

学校とボランティアへの支援を行う。

③支援ボランティア

子ども達の教育に役立ちたいという熱い思いを持って、実際に支援活動を行っていただく地域住民の皆さんです。例えば、学習支援、部活動指導、読み聞かせ、環境整備、子どもの安全確保、行事の支援など、多方面にわたります。

3 具体的な活動体制

①活動内容

A. 読み聞かせ・B. 食育・C. キャリア教育・D. PTA活動支援・E. クラブ活動支援・F. 学習支援・の6つの活動で実施していきます。

②中学校との関係

6つの活動の中で、ボランティアの協力依頼が生じた場合、庶務が地域コーディネーターとボランティア代表者等と相談し、支援活動をお願いしていきます。

③庶務の役割（設置要綱第6条）

主に連絡・調整を行う。それぞれの活動の細部については、庶務担当（教頭）が、ボランティア代表者等と連絡を取りつつ、事業を進めていきます。

④報酬及び保険

- ・東部中学校からの報酬は原則としてありません。
- ・ボランティアに登録いただいた方は、自動的に市のボランティア保険に加入されます。

※保障内容は、活動に係る行き帰りの交通及び活動中の事故等に対応します。詳細は別紙を参照ください。

4 計画及び評価

①年間活動計画

学校で作成した年間活動計画に従い、子どもの活動に合わせて、適宜 学習や事業を進めていきます。

②評価とその生かし方

その都度、反省を残し次回に生かすと共に、年間数回の運営委員会で、活動を振り返り改善点等を残していきます。その為の簡単な評価も検討していきます。